産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 1 9 日

佐賀県知事様

提出者

住 所 佐賀市神野東四丁目12番41号

氏 名 清水建設株式会社 九州支店 佐賀·久留米営業所

営業所長 間瀬 哲也

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号: 092-716-2050【九州支店安全環境部】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	O	カ	名	称	清水建設株式会社 九州支店 佐賀・久留米営業所
事	業	場	の	所	在	地	佐賀市神野東四丁目12番41号
計		画		期		間	2025年4月1日~2026年3月31日
当該	事業	美場に	おい	ハて	現に征	行っ	ている事業に関する事項
	1	事	業	の	種	類	建設業・総合工事業
	2	事	業	の	規	模	2024年度完工高 43.5億円 (佐賀県)
	3	従	茅	É	員	数	518人(九州支店全体)【佐賀・久留米営業所:14人】
		産業!の 処					別紙1の通り

(日本工業規格 A列4番)

産業	廃棄物の処理に係る	管理体制に関する事項		
	(管理体制図)			
	別紙2の通り			
産業	 廃棄物の排出の抑制			
//	2000 NO - 101 PH - 17 PH 101	【前年度(2023年度)実績	f.	
		産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
		排出量	別紙の通り t	別紙の通り t
	0.777	(これまでに実施した取組	L)	
	□ ①現状 ■	・設計及び施工計画段階にを採用する。	おいて廃棄物の発生抑制	を考慮した工法、資材等
		・廃棄物を再生処理施設へ		すを積極的に使用する。
		・廃棄物の分別を徹底し再	- 生利用を促進する。	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
		排出量	別紙の通り t	別紙の通り t
		(今後実施する予定の取組	l)	
	②計画	・使用資材の梱包材の省力	化を積極的に推進する	
産業	廃棄物の分別に関すん	る事項		
		(分別している産業廃棄物		
	O = 15	・分別を積極的に行う事を	・各事業場で推進してきた	<u>-</u>
	①現状			
			廃棄物の種類及び分別に	 - 関する取組)
		・工事の進捗状況に即した		
	②計画	展開していく		

	D再生利用に関する事項	•									
	【前年度(2023年度)実績	_	HIMM O NY 10								
	産業廃棄物の種類自ら再生利用を行った	別紙の通り	別紙の通り								
	産業廃棄物の量	別紙の通り t	別紙の通り								
①現状	(これまでに実施した取組))									
	特になし										
	【目標】										
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り								
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り t	別紙の通り								
②計画	(今後実施する予定の取組)										
 行う産業廃棄物の	特になし の中間処理に関する事項										
	【前年度(2023年度)実績]									
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り								
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙の通り t	別紙の通り								
①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙の通り t	別紙の通り								
	(これまでに実施した取組))									
	#+1 - J. 1										
	特になし										
	特になし 【目標】										
		別紙の通り	別紙の通り								
	【目標】	別紙の通り	別紙の通り								
②計画	【目標】 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う		·								
②計画	【目標】 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する	別紙の通り t 別紙の通り t	別紙の通り								

	【前年度(2023年度)実績]										
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り									
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙の通り t	別紙の通り									
	(これまでに実施した取組)											
	特になし											
	【目標】											
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り									
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り										
	特になし											
棄物の処理の委	を託に関する事項 【前年度(2023年度)実績		印紙の活									
棄物の処理の委	送託に関する事項 【前年度(2023年度)実績 産業廃棄物の種類	別紙の通り										
棄物の処理の多	を託に関する事項 【前年度(2023年度)実績 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への	別紙の通り別紙の通り	別紙の通り									
棄物の処理の多	(新年度 (2023年度) 実績 産業廃棄物の種類 全処理委託量(優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への	別紙の通り 別紙の通り 別紙の通り 1 別紙の通り	別紙の通り									
	(新年度 (2023年度) 実績 産業廃棄物の種類 全処理委託量(優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り 別紙の通り 別紙の通り t	別紙の通り									
乗物の処理の多	を託に関する事項 【前年度(2023年度)実績産業廃棄物の種類全処理委託量優良認定処理業者への処理委託量再生利用業者への処理委託量認定熱回収業者への処理委託量認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への	別紙の通り 別紙の通り 別紙の通り t 別紙の通り t 別紙の通り t	別紙の通り 別紙の通り 別紙の通り 別紙の通り 別紙の通り									
	 (前年度 (2023年度) 実績産業廃棄物の種類全処理委託量 (優良認定処理業者への処理委託量再生利用業者への処理委託量認定熱回収業者への処理委託量認定熱回収業者への処理委託量認定熱回収業者以外の 	別紙の通り 別紙の通り 1 別紙の通り t 別紙の通り t 別紙の通り t	別紙の通り 別紙の通り 別紙の通り 別紙の通り 別紙の通り									
	(ま託に関する事項(ま) 「前年度 (2023年度) 実績 産業廃棄物の種類(を業廃棄物の種類 全処理委託量(を良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量(認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り 別紙の通り 1 別紙の通り t 別紙の通り t 別紙の通り t	別紙の通り 別紙の通り 別紙の通り 別紙の通り									

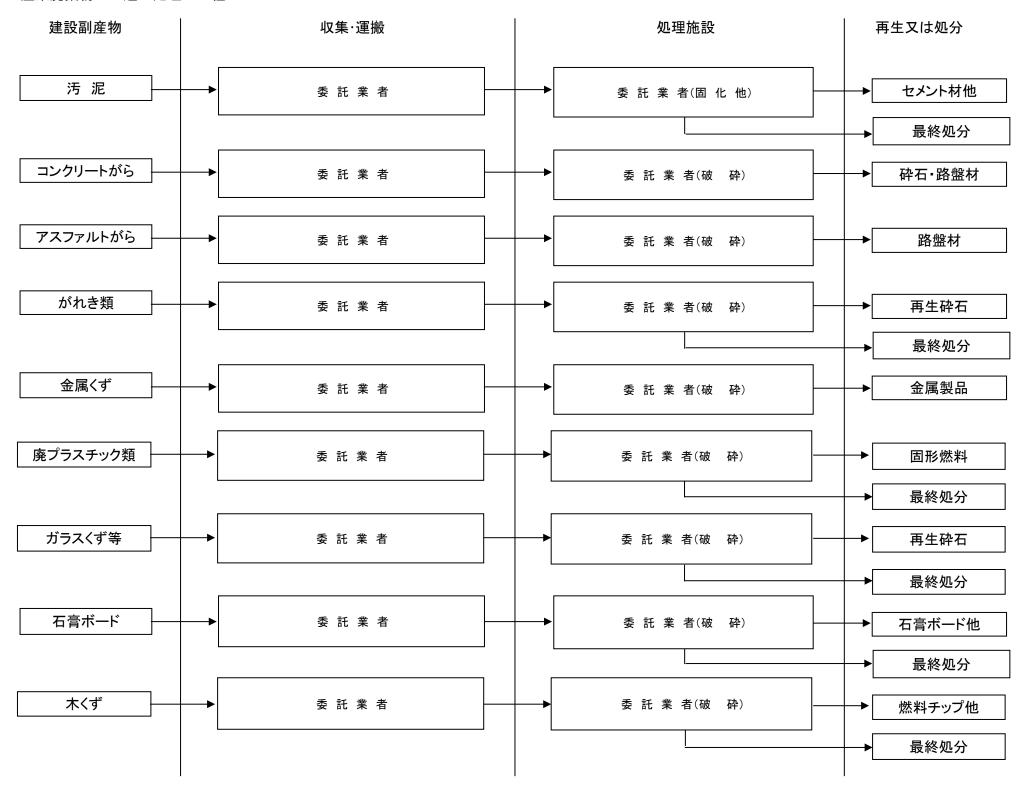
(第5面)

		【目標】					
		産業廃棄物の種類	別紙の通り		別紙の通り		
		全処理委託量	別紙の通り		別紙の通り		
		優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り	t	別紙の通り	t	
		再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り	t	別紙の通り	t	
		認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り	t	別紙の通り	t	
	②計画	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への	別紙の通り		別紙の通り		
		処理委託量		t		t	
		(今後実施する予定の取組) 特になし)				
※ 車	務処理欄						
	1万 八二十二十四						

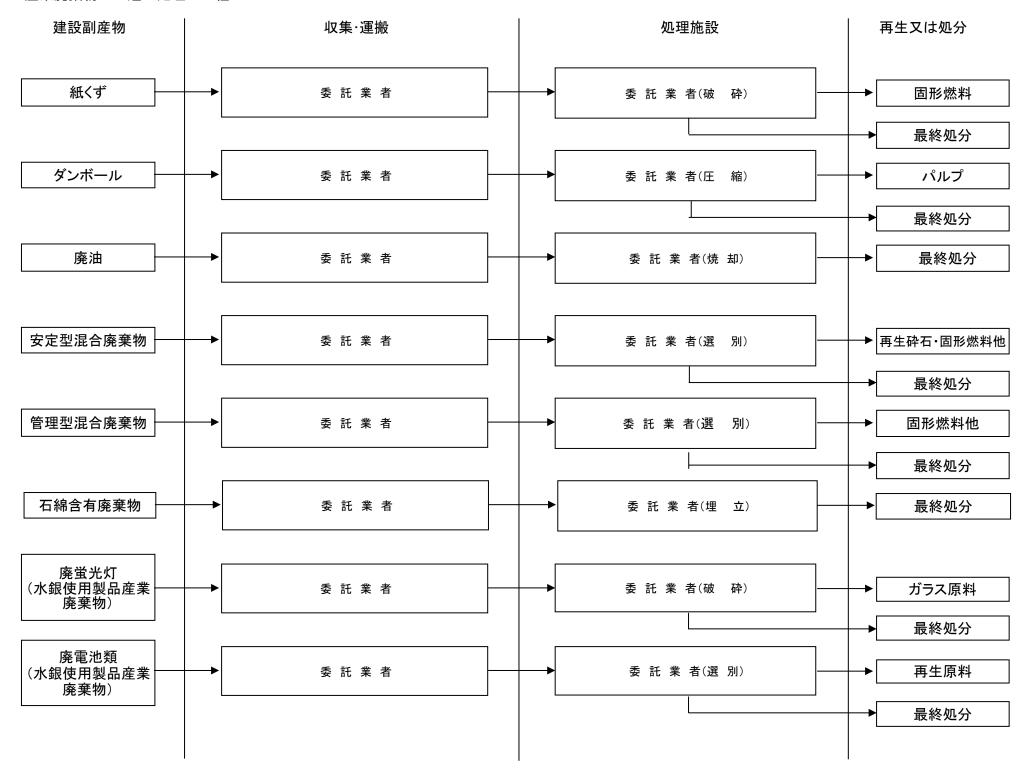
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1-1 産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙1-2 産業廃棄物の一連の処理の工程



責任者及び管理組織図										
建設副産物総括責任者	所 属: 九州支店 職 名: 副支店長									
建設副産物担当	組織名: 安全環境部環境G 組織人数: 2人									
環境管理委員会	支店内における環境マネジメントシステムの運用に関わる									
	「指示・連絡」、「問題点等の協議及び解決」を行う会議体									
役	•委員長:副支店長									
	•委 員 :総務部長、安全環境部長、設計部長、建築部長、土木部長									
	開発営業部長、土木技術部長、設備部長、調達部長									
	生産技術部長									
割	•事務局 :安全環境部長									
安全環境部	支店における建設副産物適正処理について指導・支援									
建設副産物処理責任者	作業所における建設副産物適正処理の推進									
	建設副産物管理組織									
九州支店	副支店長(建設副産物総括責任者)									
プログロ 文庫	一一一 一 一 一 一 一 一 - -									
	──環境管理委員会									
総務部										
がい3万 日 日	環境部									
	大海· 大海									
	営業所									
	・営業所長									
	長(建設副産物処理責任者) 作業所 作業所 作業所 作業所 理産業廃棄物管理責任者 1 作業所 1 作業 1 作業									
	在压木/// 1 在具 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

ı		
ı	産業廃棄物の排出の抑制に関する	+ 元
ı		#. LH

生 水 ル 木 バ) 															
	【前年度(2024年度) 実績】	廃プラス	チック類	-	ガラス陶研	滋器等くず		がれ	き類		-	-	建設混合	P 廃棄物			
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラス チック類	廃プラスチック類 (石綿含有)	金属くず	ガラスくず等	ガラスくず等 (石綿含有)	コンクリート がら	アス・コン がら	その他 がれき類	がれき類 (石綿含有)	紙くず	木くず	安定型 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物			合計
	排出量	2.000 t	0.200 t	11.100 t	25.900 t	11.400 t	389.400 t	102.900 t	288.700 t	45.100 t	0.400 t	32.100 t	15.300 t	110.400 t			1034.900 t
	【目標】																
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラス チック類	廃プラスチック類 (石綿含有)	金属くず	ガラスくず等	ガラスくず等 (石綿含有)	コンクリート がら	アス・コン がら	その他 がれき類	がれき類 (石綿含有)	紙くず	木くず	安定型 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物			合計
	排出量	2.000 t	0.000 t	11.000 t	25.000 t	11.000 t	376.000 t	99.000 t	279.000 t	44.000 t	0.000 t	31.000 t	15.000 t	107.000 t			1000.000 t

(第3面)

自ら行う産	産業廃棄物の再生利用に関する事項
	【前年度(2024年度)実績】

- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·																		
産業廃棄物の種類	廃プラス チック類	廃プラスチック類 (石綿含有)	金属くず	ガラスくず等	ガラスくず等 (石綿含有)	コンクリート がら	アス・コン がら	その他 がれき類	がれき類 (石綿含有)	紙くず	木くず	安定型 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物					合計
自ら再生利用を行っ た産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t					0.000 t
【目標】															•	•		
産業廃棄物の種類	廃プラス チック類	廃プラスチック類 (石綿含有)	廃プラス チック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器 くず	石膏ボード	その他 がれき類	コンクリート がら	アス・コン がら	安定型 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物					合計
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 +	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 +	0.000 +	0.000 +	0.000 +	0.000 +					0.000 t
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う	産業廃棄物の種類チック類自ら再生利用を行った産業廃棄物の量0.000 t【目標】廃プラスチック類自ら再生利用を行うチック類	産業廃棄物の種類 チック類 (石綿含有) 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 0.000 t 0.000 t 【目標】 廃プラスチック類 (石綿含有) 自ら再生利用を行うまが定意状の思想 原プラスチック類 (石綿含有)	産業廃棄物の種類 チック類 (石綿含有) 並属く9 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 0.000 t 0.000 t 0.000 t 【目標】 産業廃棄物の種類 廃プラス チック類 廃プラスチック類 (石綿含有) 戻プラス チック類 自ら再生利用を行う チック類	産業廃棄物の種類 チック類 (石綿含有) 並属くり カノヘくり等 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 【目標】 産業廃棄物の種類 廃プラス チック類 廃プラスチック類 (石綿含有) 廃プラス チック類 無くず 自ら再生利用を行う まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	産業廃棄物の種類 チック類 (石綿含有) 並属くり ガノヘくり等 (石綿含有) 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 【目標】 産業廃棄物の種類 廃プラス チック類 (石綿含有) 廃プラスチック類 (石綿含有) 展プラス チック類 (石綿含有) 無くず 木くず ホくず ホくず ホくず ホック類 (石綿合有)	産業廃棄物の種類 チック類 (石綿含有) 並属く9 カノヘく9等 (石綿含有) がら 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 0.000 t 【目標】 産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 (石綿含有) 廃プラスチック類 (石綿含有) 無くず 木くず 金属くず 自ら再生利用を行う まずの力質 (石綿含有) まずの力質 (石綿含有) まずの力質 (石綿含有) まずの力質 (石綿含有) まずの力質 (石綿含有)	産業廃棄物の種類 チック類 (石綿含有) 並属くり ルノヘくり等 (石綿含有) がら 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 0.000 t 【目標】 産業廃棄物の種類 廃プラス チック類 (石綿含有) 廃プラスチック類 (石綿含有) 紙くず 木くず 金属くず グラス くず 自ら再生利用を行う まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	産業廃棄物の種類 チック類 (石綿含有) 金属くり カノハくりず (石綿含有) がら がら がら がれき類 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 0.000 t 0.0	全業廃棄物の種類	全業廃棄物の種類	産業廃棄物の種類 チック類 (石綿含有) な属くり カノヘくり等 (石綿含有) がら がら がれき類 (石綿含有) 紙へり 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 0.000 t 0.000 t	作業の 大ツク類 「石綿含有) 金属、 9	作業のでは、	作業院乗物の種類	作業 (石綿含有) 年来 (石綿含有) 年 (石綿含有) イントン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	作業廃棄物の種類 チック類 (石綿含有) 並属くり ガラス陶磁器 石倉ボード インカリート アス・コン 安定型 混合廃棄物 混合廃棄物 混合廃棄物 日連型 ステック類 日連出来の利益 日本来の利益 日本の利益 日本の利益	作業 作業 作業 作業 作業 作業 作業 作

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度(2024年度)	実績】															
	産業廃棄物の種類	廃プラス チック類	廃プラスチック類 (石綿含有)	金属くず	ガラスくず等	ガラスくず等 (石綿含有)	コンクリート がら	アス・コン がら	その他 がれき類	がれき類 (石綿含有)	紙くず	木くず	安定型 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物			合計
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t			0.000 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t			0.000 t
	【目標】																
	産業廃棄物の種類	廃プラス チック類	廃プラスチック類 (石綿含有)	金属くず	ガラスくず等	ガラスくず等 (石綿含有)	コンクリート がら	アス・コン がら	その他 がれき類	がれき類 (石綿含有)	紙くず	木くず	安定型 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物			合計
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t			0.000 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t			0.000 t

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

自ら行う産	業廃棄物の埋立処分又	ては海洋投入気	処分に関する事	事項												
	【前年度(2024年度)	実績】														
	産業廃棄物の種類	廃プラス チック類	廃プラスチック類 (石綿含有)	金属くず	ガラスくず等	ガラスくず等 (石綿含有)	コンクリート がら	アス・コンがら	その他 がれき類	がれき類 (石綿含有)	紙くず	木くず	安定型 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物		合計
①現状	自ら埋立処分又は	7 7 7 75				(, , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	N 40 C AR	(- //// - 117			此日先来初	100元米初		
	海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		0.000 t
	【目標】															
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラス チック類	廃プラスチック類 (石綿含有)	金属くず	ガラスくず等	ガラスくず等 (石綿含有)	コンクリート がら	アス・コン がら	その他 がれき類	がれき類 (石綿含有)	紙くず	木くず	安定型 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物		合計
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う															
	産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		0.000 t
産業廃棄物	1の処理の委託に関する	事項														
	【前年度(2024年度)	実績】														
	産業廃棄物の種類	廃プラス チック類	廃プラスチック類 (石綿含有)	金属くず	ガラスくず等	ガラスくず等 (石綿含有)	コンクリート がら	アス・コンがら	その他 がれき類	がれき類 (石綿含有)	紙くず	木くず	安定型 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物		合計
	全処理委託量	2.000 t	0.200 t	11.100 t	25.900 t	11.400 t	389.400 t	102.900 t	288.700 t	45.100 t	0.400 t	32.100 t	15.300 t	110.400 t		1,034.900 t
	優良認定処理業者への															
①現状	処理委託量 再生利用業者への	2.000 t	0.200 t	11.100 t	25.900 t	11.400 t	389.400 t	102.900 t	288.700 t	45.100 t	0.400 t	32.100 t	15.300 t	110.400 t		1,034.900 t
	処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		0.000 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		0.000 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への															
	処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		0.000 t
	【目標】				T	10 m 10 taka		77	7 0 14				.÷→ .÷→ π'ι	¢⁄c →π πμ	 T	
	産業廃棄物の種類	廃ノフス チック類	廃プラスチック類 (石綿含有)	金属くず	ガラスくず等	ガラスくす等 (石綿含有)	コンクリート がら	アス・コン がら	その他 がれき類	がれき類 (石綿含有)	紙くず	木くず	安定型 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物		合計
	全処理委託量	2.000 t	0.000 t	11.000 t	25.000 t	11.000 t	376.000 t	99.000 t	279.000 t	44.000 t	0.000 t	31.000 t	15.000 t	107.000 t		1,000.000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2.000 t	0.000 t	11.000 t	25.000 t	11.000 t	376.000 t	99.000 t	279.000 t	44.000 t	0.000 t	31.000 t	15.000 t	107.000 t		1,000.000 t
②計画	再生利用業者への															
	処理委託量認定熱回収業者への	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		0.000 t
	処理委託量 認定熱回収業者以外の	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		0.000 t
	熱回収を行う業者への															
	処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		0.000 t